

## 授業改善等に関する報告書（2021 年前期）

## 授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2021（前期）生活環境学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
アパレルデザイン基礎実験	川上梅	授業の方法に関する評価は、全回をオンライン（オンデマンド+zoom）授業で行った昨年度よりも低い結果となりました。このような評価の背景には、会話を最小限に抑え極力距離を取る方法での対面授業、オンデマンド教材を利用した説明、授業途中での教材内容の入れ替え等が考えられ、皆さんがかなり戸惑った様子が伺えます。ただし、<この授業を通じて、自身の成長がとて実感できた・どちらかと言えば実感できた>が91%、<さらに専門的に学びたいとも思う・どちらかと言えば思う>が88%、そして、<総合的に判断してこの授業にとて満足・どちらかと言えば満足>は100%でした。今後はコロナ感染を心配しない環境下で、アパレル製作実習が存分に行えるようになることを願っています。
住環境デザイン論	内藤将俊	本講義では、デザイン手法に始まり、近代の著名な多くの作品について、また、現代の最先端の住環境デザイン論まで多角的にお伝えするよう努めました。それぞれの回のレポートでは、積極的な提案や的確なまとめが多く見受けられました。
工業デザイン概論	山崎和彦	モノを設計し、工業製品として世に送り出す業務に就く者はどれほどいるのだろう。大変な仕事である。我が講義内容が多少は活きればよいと思う。
伝統衣服実習	川上梅	一人一人が自主的に真面目に取り組んでいましたので、全員が<総合的に判断してこの授業にとて満足>（100%）という結果に納得しています。その他の項目でも、<とてもそう思う>と<どちらかと言えばそう思う>を合わせるとほぼ100%と、高い評価でした。特に、<とてもそう思う>が86%の項目は、<この授業を通じて自身の成長が実感できた><板書やパワーポイント、配布資料はわかりやすかった><担当教員の声や言葉は聞き取りやすかった><シラバスの内容や到達目標と一致していた>等で、私自身の励みにしたいと思います。
インテリアコーディネート演習	山口照也	まず、課題Ⅱの結果についてコメントします。 担当教師としての純粋なA評価以上は3名（50%）でしたが、皆さんの学生評価も加味して、A評価以上は4名（66%）という結果でした。他2名もA評価に近いB評価でした。 個別指導コレクションで返却した「学生評価表まとめ」や掲示板に掲載した「山口の講評」の中のコメントの通り、様々な見方や意見、感想があるので、今後の参考にしてください。 本年度の特徴は、皆さんの個性が作品に現れており、全作品とも魅力的でした。
インテリアコーディネート演習	山口照也	アンケート結果については、次のようにコメントします。 ①「自由記述」に4つのコメントがありました。2つは好評価の内容でしたが、他の2つは「Zoom授業の限界」と「就活や他の制作授業との両立の難しさ」を指摘したものでした。大変な時期の授業になりましたが、この経験も今後に役立つはずで。 ②アンケート各項目では、欠席回数以外はほとんど当該区分平均や全体平均より高い数値で、望ましい結果に近かったようです。 ③皆さん全員が授業にキチンと取り組んだ結果であり、アンケート回答率も100%だったので、このアンケート結果には信憑性があると思います。
生理人類学	山崎和彦	教材の動画を2度繰り返して眺めた学生はどれほどいるのだろう。最後の数分のみを眺めただけでレポートを提出した学生が非常に多かった。欠席同然であるから「D」判定とするつもりでいたが、最後の筆記試験に臨む姿をみて気が変わった。
設計製図基礎	橋弘志	本来対面で行ってきた演習授業であるが、昨年に引き続きオンデマンドで行わざるを得ず、また授業回数が14回への変更に伴う構成の変更を行ったため、授業準備はかなり手間取ることとなった。当初、学生は登校していたため、課題を直接持参して提出してもらおう形にしていたが、途中からmanabaでの提出を併用せざるを得ず、課題チェックの方法が錯綜する結果となった。動画の画質に対する意見は多かったが、画質を上げるとファイル容量が急増することとなり、さらにGoogleDriveにアップしたものを視聴する際に、GooleDriveのほうでかなり画質を落としてしまうため、結果として細かい部分がはっきりと確認しづらい状態となる。ファイルをダウンロードすれば、もう少し見やすいものとなるが、ファイル容量がけっこう大きいので推奨しづらい状況であった。よりよい画質で視聴できるための解決方法は模索中である。
ユニバーサルデザイン論	塚原肇	ユニバーサルデザインは建築、アパレル、プロダクトなど全てのデザインの基礎になります。しっかり理解して、常にUDを意識したデザインを行ってください。特に今年のようなコロナ禍ではUDは重要度を増します。
生活環境学セミナー	塚原肇	前期は椅子作りを行いました。初めての本格的なプロダクトデザインでしたが思い通りのデザインができましたか。今回はデザインのプロセスを習得することが目的でした。このプロセスを2022年度の卒業制作に活用してください。
生活環境学セミナー	山崎和彦	指名しないと意見が出ない。そうなると指名する他ない。このゼミは日本語の使用が可能である。その有難さがよく分かっていないのだろう。

[2021（前期）生活環境学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
		<p>まず、課題Ⅱの結果についてコメントします。</p> <p>担当教師としての純粋なA評価以上は2名（6%）でしたが、皆さんの学生評価も加味したA評価以上は5名（16%）です。D評価も未提出者（失格）もいませんでしたが、昨年よりA評価取得率が大きく下がっています。昨年も設計製図の課題提出と重なっていたので条件は同じだったのですが、設計製図に力を入れた結果こちらの課題が疎かになったのだと思います。</p> <p>毎年、皆さんの提出図面を細かくチェックし、良くない部分だけでなく、良い部分も見つけ出すべく努め、「山口の講評」としてまとめるようにしています。「学生評価まとめ」と共に、皆さんの作品に対する様々な意見や感想が述べられているので、今後の参考にしてください。</p>
インテリアデザイン演習	山口照也	<p>アンケート結果については、次のようにコメントします。</p> <p>①「成長の実感記述」に12点のコメントがありました。12点とも好評価の内容でした。</p> <p>②一番相応しい「授業の実施方法」については、対面型が43%、双方向型21%、オンデマンド型+双方向型が21%、オンデマンド型が14%という結果でした。理由の記述では対面賛成派が4人、対面反対派が4人ありました。</p> <p>③「自由記述」に5人からコメントがありました。好評価以外に「双方向授業時の音声が聞き取りづらい」「発表は2回に分けた方がよい」「提出日が他の課題と重なっていて苦しかった」「模型も提出して見て欲しい」等です。「音声の問題」は解消したと思っていたのですが、解消していなかったようで失礼しました。PC本体の問題のようなのでPCを買い替えるか検討してみます。「提出日」は毎年同じなのでスケジュール管理を皆さん自らできるようになってもらいたいです。「模型」は、図面に貼られた模型写真でちゃんと見てチェックしています。</p> <p>④アンケート各項目では、「欠席回数」「声や言葉の聞き取りやすさ」「成長実感度」「自己採点」「満足度」が当該区分平均や全体平均より低い数値で、昨年よりも悪くなってしまったようです。昨年もコロナ禍だった中で、「成長実感度」と「満足度」が昨年よりも悪くなった事を真摯に受け止めて改善していく必要があると感じています。</p>
建築法規	橋弘志	<p>今年は対面授業で始まり、途中でzoomによる双方向、そして再び対面に戻す、という混在した実施方法であったが、昨年のオンライン対応の経験から、おおむね大きな混乱なく授業を行うことができた。この授業は、1回ごとに話題を完結する形で行っているため、今年から100分×14回の構成に変える必要があり、やや手間取った部分もある。100分の授業で時間的に余裕ができたはずだが、問題をその場でじっくりと解いてみる時間などがあまりとれず、時間の有効な使い方については次年度の課題としたい。</p>
建築・インテリア構法	内藤将俊	<p>本講義では、木構造や鉄骨構造、鉄筋コンクリート構造や各部構法について、一般構造の基礎を総合的にお伝えするよう努めました。非常に範囲が広がったにも関わらず、最終試験結果が良好であり、多くの受講生が意欲的に取り組んでくださっていたと思います。</p>
設計製図基礎	橋弘志	<p>本来対面で行ってきた演習授業であるが、昨年に引き続きオンデマンドで行わざるを得ず、また授業回数が14回への変更に伴う構成の変更を行ったため、授業準備はかなり手間取ることとなった。当初、学生は登校していたため、課題を直接持参して提出してもらおう形にしていたが、途中からmanabaでの提出を併用せざるを得ず、課題チェックの方法が錯綜する結果となった。動画の画質に対する意見は多かったが、画質を上げるとファイル容量が急増することとなり、さらにGoogleDriveにアップしたものを視聴する際に、GoogleDriveのほうでかなり画質を落としてしまうため、結果として細かい部分がはっきりと確認しづらい状態となる。ファイルをダウンロードすれば、もう少し見やすいものとなるが、ファイル容量がけっこう大きいので推奨しづらい状況であった。よりよい画質で視聴できるための解決方法は模索中である。</p>
テキスタイル材料実験	加藤木秀章	<p>データ整理等で図などを作って各値を比べたとき、傾向について考察すると学修効果が高まります。</p>
感性と生活情報システム	佐藤健	<p>対面の予定が、オンデマンドになっており、急遽教材を作成しました。いつもの授業とほぼ同じ内容は伝えました。感性は、記憶とのリファレンスなので、いろいろなものを見て、触って、記憶にとどめるようにしましょう。</p>
生活空間設計製図Ⅰ	内藤将俊	<p>実質的には、初めての本格的な設計作業であったと思います。最初は戸惑いもあったでしょうが、3課題とも大変に素晴らしい成果物が多く、創造性を遺憾なく発揮できたと思います。生活空間設計製図Ⅱ、Ⅲでも引き続き積極的に設計活動に取り組んでもらいたいです。</p>
生活環境学セミナー	大川知子	<p>授業内での呼び掛けを失念し、回答してくれたのは、おひとりでした。協力して下さった方、ありがとうございました。後期は、忘れずにお声を掛けますので、ゼミ生のみなさん、協力のほど宜しくお願いします。</p>
デザイン史	塚原肇	<p>デザインの歴史を知ることは大変重要です。先人がどのようにデザインを捉え進化させていったかを知ることにより今後のあなた方の進む方向が見えてきます。授業を通して興味を持ったデザイナーや作品があれば進んで調べてみてください。</p>

[2021（前期）生活環境学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
建築概論	楢原 肇	<p>スピードと配付資料の評価が平均より低め、さらに専門的に学びたいが高めという評価平均値でした。</p> <p>スピードについては、「授業中に終わらないから動画で学ぶ」が数回あったので、自覚あります。反転授業化しての改善を試みたいと思います。</p> <p>配付資料については、「紙で配付して欲しかった」というコメントに代表されていると思うのですが、PDFだけだと書き込みしづらいというのが関係していると考えています。こちらは、配布を考えます。</p> <p>その他、改善できる場所があるか、コメント見ながら考えます。</p> <p>興味を持ってくれた人が多かったこと、街で建物を様々な視点で気にしながら見るようになったというコメントは多くて、それは嬉しかったです。</p> <p>引き続き、より専門的な授業においても、興味を大事にして学んでいってもらえればと思います。</p>
生活空間計画	橋弘志	<p>今年是对面授業で始まり、途中でzoomによる双方向、そして再び対面に戻す、という混在した実施方法であったが、昨年のオンライン対応の経験から、おおむね大きな混乱なく授業を行うことができた。スライドを中心とした授業ではあるので、授業を受ける側としては、対面でも双方向でも、大差ない授業が可能となったと思われる。授業で提示している多くの写真は、ほとんどが雑誌や文献からのものなので、要望のあった授業スライドのアップやオンデマンド化などについては、著作権法上判断が難しいところがある。</p>
アパレルデザイン基礎	川上梅	<p>オンデマンド授業ということもあり、例年よりも履修者が多く他学科の学生の履修も見られましたが、「欠席回数0回」は86%の数字が示すように、毎回の小テストにはほとんどの方が参加し、真面目に取り組んでいました。&lt;総合的に判断してこの授業に大変満足・どちらかと言えば満足&gt;は86%、&lt;この授業を通して自分の成長がとても実感できる・どちらかと言えば実感できる&gt;は93%となりますので、衣料管理士資格取得を目的とする方は勿論ですが、それ以外の方々も学ぶものが多かったことは良かったと思います。</p> <p>一言付け加えますと、&lt;授業内容がよく理解できた人は満足度が高い&gt;という関係は、従来の授業評価の結果でも見られます。今回もその例外ではなく、&lt;総合的に判断して大変満足&gt;と答えた人の73%が&lt;説明が分かり易かった&gt;、100%が&lt;声や言葉が聞き取り易かった&gt;と回答していました。</p>
生活気候学	山崎和彦	<p>オンデマンド型では、「真面目派」と「不真面目派」が明確に分かれる。不真面目でもそこそこの単位を得ることができるが、損をしたことに生涯気づかないのだろう。</p>
生活環境基礎 a	加藤木秀章	<p>みなさん頑張っていました。IoTを利用した電子看板、ドアの施錠、防犯カメラ、空調調整、携帯利用したオンラインゲーム、ドローンや授業など多くある時代です。ただ、それらは数値・計算などが利用・応用されており、身近なものについてふと疑問に思うと学修効果が高まります。</p>
デザイン基礎演習 a	塚原肇	<p>授業内容は理解できましたか。</p> <p>スケッチは描けば描くほど目に見えて上達します。</p> <p>今後も続けて練習してください。</p>
ファッションビジネス論	大川知子	<p>3ヶ月半に亘る授業、お疲れ様でした。アンケートでは、学びを通して、ファッションを見る視点が変わったとの意見を多数いただき、また、VMDにも興味を持っていただき、ありがとうございました。課題が多く、大変だったと思いますが、それぞれがみなさんの力になったことを期待します。</p> <p>課題についての説明は、最低限に留めていましたが、そのことで不安を感じていた方もいたようです。ただ、余り説明を加え過ぎると、みなさん、真面目にその通りにやろうとして、創造性が削がれてしまう為、そのバランスが難しいところです。何れにしても、この授業に限らず、不明な点は、遠慮せず質問をして下さい。後期も、良い学びを続けて下さい。</p>
住居学	橋弘志	<p>今年是对面授業で始まり、途中でzoomによる双方向、そして再び対面に戻す、という混在した実施方法であったが、昨年のオンライン対応の経験から、おおむね大きな混乱なく授業を行うことができた。全体平均と同等（やや高）の評価となった。zoomのほうが板書が手元で見えて見やすかった、という意見と、対面の方が緊張感をもって授業に臨める、という意見の両方が見られる。授業に対する質問・疑問に対して、次回の授業の冒頭で行う解答解説については、ちょっと時間を使いすぎたかもしれないが、100分授業になったことで、少し時間的な余裕ができたように感じる。</p>
ファッションビジネス演習	大川知子	<p>3ヶ月半の授業、お疲れ様でした。授業内で、アンケートの記入の為の時間を確保したのですが、回答率は50%でした。そのいただいた内容からしか判断出来ないのですが、授業内容に関して、全てが「とてもよくあてはまる」「どちらかといえばあてはまる」という回答でしたので、みなさんに役立つ内容で良かったです。途中でリモートになり、実際に製品に触れていただく機会が持てなかったのが残念でしたが、今後も、五感を使い、優れた製品に触れる機会を持ち、学びを深めていただきたいと思います。</p>
プロダクトデザイン論	塚原肇	<p>プロダクトデザインの概要は理解できましたか。</p> <p>使用した教科書をデザインの辞書代わりに活用してください。</p> <p>そして是非、プロダクトデザイン検定1級にチャレンジしてください。</p>

[2021（前期）生活環境学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
生活環境学セミナー	槇 究	遅くなりました。（答えて、と言っていなかったし、通年科目だからと思っていましたが、半数の人が回答してくれていた。） 成長実感があって、もっと学んでみたくて、総合的に満足してくれているなら、嬉しいことです。 後期、益々、色々やって、できれば楽しく、成長が感じられる活動を継続していきましょう。
繊維高分子材料実験	加藤 木秀章	一生懸命頑張っていますね。考察で実験結果と文献値と比較してみるとさらによくなります。
人間工学実験	佐藤 健	コロナ禍の中で、人を測る授業では制限がたくさんありました。個別に測れる、心電図を深く、広くやりました。MS-Teamsもつかったりして、情報系のトレーニングもできました。
デザイン基礎演習 a	塚原 肇	授業内容は理解できましたか。 スケッチは描けば描くほど目に見えて上達します。 今後続けて練習してください。
生活環境学セミナー	佐藤 健	ゼミ合宿とか一切できてませんが、ゼミの中の人たちでのコミュニケーションを活発にできるようになりました。少しずつやっていきましょう。
生活環境学セミナー	加藤 木秀章	みなさん頑張っています。活動していく上で計画・実施・検討(見直し)・再実施が学修効果を高めます。